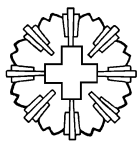


# 米沢市立病院 患者サポートセンターだより



編集 米沢市立病院患者サポートセンター  
〒992-8502 米沢市相生町6番36号  
TEL(0238)22-2450(代表) FAX(0238)22-2624  
URL <http://www.yonezawa-city-hospital.jp/>

2024

令和6年3月

Vol.



彫刻家：六崎敏光氏寄贈ブロンズ像「同心(どうしん)」

特集

Topics

新病院開院の挨拶(病院事業管理者)  
患者サポートセンター長就任の挨拶  
米沢市平日夜間・休日診療所の移転について  
新任医師の紹介  
患者サポートセンターについて

創刊号

### 米沢市立病院と三友堂病院の新病院開院記念碑 ブロンズ像“同心”

令和5年11月1日に、待望久しかった「新・米沢市立病院」と「新・三友堂病院」が開院しました。

また、同日に両病院の機能分化・連携推進を図るため、地域医療連携推進法人『米沢ヘルスケアネット』も設立され、始動しました。これにより、医療機器の共同利用や共同研修、人事交流なども進み、両病院の経営効率化が図られ、共に栄える【共栄】を実現してまいります。そして、少子・高齢化、人口減少の傾向にある当地においても、地域住民へ安全・安心・良質での保健医療福祉サービスを将来にわたって提供してまいります。その思いを共有する両新病院のシンボルとして、両病院の玄関に面したロータリーの中央にブロンズ像【“同心”】を設置いたしました。

ブロンズ像の製作者は、美術団体「一陽会」顧問で彫刻部門代表、日本美術家連盟会員の六崎敏光氏で、私の母校である茨城県石岡市立府中中学校3年時の担任です（表紙写真の向かって右端）。2018年に新国立美術館で開催された第64回一陽展にこの作品が展示され、「人が手を取り合い心で繋がっている」イメージが印象的であったため、両新病院記念碑として米沢市に寄贈頂けないか先生にお願いし、快諾を得ました。台座は私が提供することにし、先生の御指示に従って茨城県産稲田石（白御影石）を調達し作成しました。先生には、公立病院と民間病院の合築と連携という先駆的な試みで、地域医療改革の成果が期待されている旨の話をしていたところ、作品名は【“同心”】と命名いただきました。題字は、福島県三春町の書家・渡辺貞光氏が自ら書し、出版した「千字文」をいただいていたことを思い出し、その中の同と心の2文字の使用許可を得て記念碑が完成しました。

この「千字文」とは、中国の梁の時代に、武帝が周興嗣（しゅうこうし）に命じて作らせた書道の教材で、書聖と呼ばれた能書家、王羲之（おうぎし）の筆跡を模写した千の異なる文字で作られ、250の4字句からなる韻文で構成されているもので、日本では8世紀頃から普及していたとのこと。

今後は、両病院の職員の皆様と“同心”の思いで「競争から協調へ、そして共栄へ」と改革を進め、米沢の地域医療をさらに発展させていきたいと考えています。





## 患者サポートセンター長就任の挨拶（副院長 佐藤 洋一）

常日頃より当院の地域医療連携に御協力を賜り、誠にありがとうございます。

11月に新病院になり、新たに患者サポートセンターが開設され、その初代センター長を拝命いたしましたので御挨拶申し上げます。

当センターの役割を具体的に述べますと、地域医療連携業務や入退院支援・各種相談業務、医療福祉相談業務、病床管理業務といった4つの広範なものになります。新病院では急性期治療が中心となるため、今までの業務内容とは多少異なる面も予想されます。

また、地域連携の一環として、令和5年12月から平日夜間・休日救急の一次救急に関して、医師会及び山形大学医学部附属病院の先生方に担っていただくことになり、本当に感謝申し上げます。

まだ新病院が開院したばかりですので、さまざまな問題が発生してくることが容易に想像できますが、医師会及び歯科医師会の先生方や三友堂病院の先生方、近隣病院の先生方、連携施設の皆様方と連携を取りながら市民のために汗水を流す所存ですので、今後とも御指導、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 米沢市平日夜間・休日診療所移転について

米沢市平日夜間・休日診療所については、これまですこやかセンター隣で診療を行っていましたが、令和5年12月1日から米沢市立病院内に移転し診療を行っております。

診療場所は、米沢市立病院救急診察室を使用しております。

診療時間は下表のとおりですが、米沢市医師会及び山形大学医学部附属病院の先生方に担当していただいております。

平日夜間及び休日の診療を同じ施設内で行うことで次のようなメリットがあげられます。

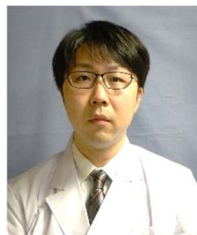
- ①入院治療や高度な対応が必要となった場合医療機関の移動、再受診の手間の解消
- ②救急担当医、検査設備の充実による、より迅速で高度な処置が可能となる。
- ③初期救急・二次救急の会計の一元化による診療費の負担軽減が図られる。

「米沢市病院群輪番制病院運営事業」も11月に廃止され、24時間365日の救急医療が同じ施設内で初期救急から二次救急が行われることにより、患者様の利便性及び二次救急への連携向上が図られます。

### 【診療時間】

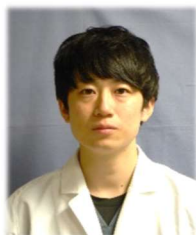
区 分	担当時間	担当医師
平日夜間（月～金曜日）	19時～22時	米沢市医師会及び山大医学部 附属病院
休 日（日曜日、祝日、年末年始）	9時～12時、13時～17時	
上 記 以 外		米沢市立病院

## 新任医師の紹介



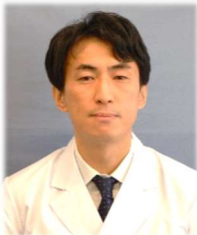
- ①明石 一輝  
(あかいし かずき)
- ②整形外科
- ③山形県天童市
- ④山形大学
- ⑤漫画、サッカー

⑥患者さんに寄り添うような医療ができるように、精一杯頑張ります。



- ①土田 秀成  
(つちだ ひでなり)
- ②消化器内科
- ③山形県新庄市
- ④岩手医科大学
- ⑤映画、ドラマ鑑賞

⑥初めまして。消化器内科医の土田秀成と申します。この度、県立中央病院から当院へ赴任して参りました。米沢の医療に少しでも貢献できるように、日々努力していきたいと思っております。



- ①松田 憲一朗  
(まつだ けんいちろう)
- ②脳神経外科
- ③山形県南陽市
- ④山形大学
- ⑤読書、鉄道、自転車、フルート

⑥脳卒中をはじめ、様々な生活習慣病は、診断や治療だけでなく、予防や病気との付き合い方も大切です。患者さん自身や御家族の考え・思いを大切にしながら、最善の医療を提供できればと思います。



- ①矢野 充泰  
(やの みつひろ)
- ②外科
- ③神奈川県川崎市
- ④山形大学
- ⑤野球、釣り

⑥約20年振りに米沢で働くことになりました。大腸がんを治すことに全力を尽くします。大きな身体、声と元気が取り柄です。



- ①戸屋 亮  
(とや りょう)
- ②外科
- ③山形県庄内町(旧余目町)
- ④山形大学
- ⑤サッカー観戦

⑥三友堂病院からの異動で、かれこれ米沢11年目になりますが、これからも頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ①中野 亮  
(なかの りょう)
- ②外科

よろしくお願ひします。

①氏名(ふりがな) ②診療科 ③出身地 ④出身大学 ⑤趣味・特技 ⑥ご挨拶

## 患者サポートセンターについて

新病院の開院に伴い、これまでの病院機能におけるそれぞれの役割を統合することで、これまで以上に患者さんの予約紹介、入院及び退院(転院)調整をスムーズに行うことを目的として「患者サポートセンター」が開設されました。旧病院の組織である、地域医療連携室、医療相談室、患者支援センターの3部署が統合された新たな部署ですが、基本的な機能はこれまでと変更がございません。患者さんの予約紹介に関するお問い合わせは「地域医療連携担当」、入院中の療養に関することや退院後の支援に関することについては「入退院支援担当」、医療保険や介護保険等の福祉全般に関することは「医療福祉担当」が対応いたします。

不慣れではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。